



ト情報を登録することで、ホテルのチェックインや美術館・競技場への入場、免税処理などを面倒な手続きなしでスムーズに行える環境づくりを目指します。さらにICカードの利用により、レストランのメニュー画面での



誰にとっても便利な社会を実現するために

東京2020大会は、世界各国から多くの人が訪れ、東京のみならず日本全体が注目を集める一大イベントです。2015年7月、総務省は同大会および大会以降の持続的な成長を見

最先端の「おもてなし」を準備中！ 2020年に向けた企業の枠を超えた共創

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)開催に向けて、訪日外国人観光客の受け入れ環境の整備が進められています。なかでもICT(情報通信技術)環境の整備促進は急務とされ、さまざまな企業間の連携による取り組みが始まっています。JALも実証実験に参画しています。

据えて、「2020年に向けた社会全体のICT化アクションプラン(第一版)」を策定しました。開催に先駆けて行われる国内のICTインフラの整備やサービスの高度化は、わが国の最先端のICTを世界に発信する絶好の機会になると期待されています。「ICT化アクションプラン」には、

個人情報をクラウド経由でスマートフォンやSEIなどのICカードに連携させることで、スムーズな移動、観光、買い物などに活用し、多彩なサービスを受けられるようにする計画があります。

2016年5月には、この「ICT化アクションプラン」の動きに呼応して、企業の枠を超えた共創によるICT基盤整備の実現を目指す「一般社団法人おもてなしICT協議会」が設立されました。協議会には日本を



ICカードで宿泊施設にチェックインする海外基地の客室乗務員

JALでは一連の実証実験に関連して、中国、台湾、タイの訪日外国人観光客に向けて現地の旅行会社と連携して、総計3000個の実証実験ツールを海外で配布しました。また、海外基地(海外を拠点としている)客室乗務員の日本での宿泊先において、パスポート情報を登録したICカードによるホテルのチェックイン実証実験を実施。さらに、実験に利用したスマートフォンアプリ「Japan2Go」(日本各



バンコク空港にてICカードなどが入った実証実験ツールを持っている旅行者たち

地の観光情報や交通情報などを簡単に検索できるものは、JALの訪日外国人旅行者向け国内線運賃(Japan Explorer Pass)と連携することや、国内移動の利便性を高めることに成功しています。今回の実験に参加いただいたお客さまからは「一枚のICカードで、簡単にホテルのチェックインができ、観光案内やレストランメニューが一言語で表示されるのとても便利だった。もっと多くの場所で使えれば旅行が楽になる」という感想をいただいております。

社会全体のICT化は、2020年以降も日本がさらなる成長を続けていくための国家的なプロジェクトであり、未来への資産(レガシー)です。それは今後の日本の観光立国としての行方を占う意味でも、重要な試金石となることでしょう。

代表する情報通信企業や訪日外国人観光客向けサービスにかかわる企業が参加し、JALも理事として名を連ねています。

入国から出国までをカード1枚で

協議会では、先進的なICTを活用した「おもてなしサービス」について、2020年の全国展開を目指して既に実証実験を開始しています。2016年度は、千葉・幕張・成田地区で実証実験を行いました。実験に当たっては、①個人情報登録するためのICカード ②通信利便性向上のための携帯電話用プリペイドSIMカード(通信量1GB付き)をセットにした実証実験ツールを訪日外国人観光客に配布。ICカードにパスポート

企業の枠を超えた共創による社会全体のICT化の実現に向けて

日本の成長戦略を支える大きな柱が訪日需要の拡大です。本協議会では、訪日外国人の目線で先端的ICTを活用したおもてなしサービスを構築し、訪日外国人が広く国内を移動・消費することによる地域創生につなげるとともに、日本経済の活性化、国際競争力の向上を図ることを目指します。多様な商品・サービス・ソリューションを提供している企業が互いの強みを活かして共創するALL JAPANでの取り組みを行っています。

JALには、訪日外国人3,000名への実証ツールの配布や海外基地の客室乗務員による実証実験の実施など大変重要な役割を担っていただいています。日本経済の持続的成長のため、われわれが構築するICT基盤が、訪日外国人だけでなく日本国民にとっても快適な生活環境を可能とする日本の「レガシー」となるよう力を合わせて実現していきたいと強く望んでいます。



一般社団法人おもてなしICT協議会 理事長
西 宏章 教授
(慶應義塾大学 理工学部)